

社会貢献カンパ寄付先訪問報告書

報告日： 2006年 11月 11日

報告者： 松本南 支部 松本

訪問先：長野サマライズセンター
(対応者 小笠原 恵美子さん、他5名)



訪問者：
田中支部長、松本(副支部長)

寄付物品：
プロジェクタ、スクリーン、スタンド

寄付先概要・主な活動

長野サマライズセンターでは、パソコンを使った「要約筆記」と呼ばれる技術によって、障害者・高齢者などの情報弱者への地域社会への参加をサポートしている。大学の授業や各種講演会などにおいて、発言者の音声情報を文字情報に変換し、リアルタイムにスクリーンに映し出すことで、情報入手のための補助手段として提供している。

URL: <http://www.shiojiri.ne.jp/~fstep/>

寄付物品の使途・具体的な使われ方
「要約筆記」活動の出力機器として。

このように使われます！



所感

今回、講演会で活動している様子を実際に見させていただき、また取り組みに対するお話を聞かせていただくことができ、有意義であった。行政主体ではあるが、情報弱者の参加有無に関わらず、多くの場面で要約筆記が活用されるようになってきているとのこと。結果として、社会全体へ認知されていけば、地域社会への貢献に留まらず、誰もが平等に情報を入手し、様々な場に参加できる社会になる。EPSON/SE 労組としても、寄付に留まることなく、このような活動に対する理解、協力(活用)の場の提供ができればと感じた。

その他(寄付先からのコメント・要望・今後の活動予定など)

今後も、多くの場面でこのような活動を行っていき、より多くの方に認知、活用されることが大切であるため、そのような場があれば、是非ご協力をお願いしたい、とのことでした。
(現実問題としては、人材確保も課題のため、継続的な依頼があることも大切)